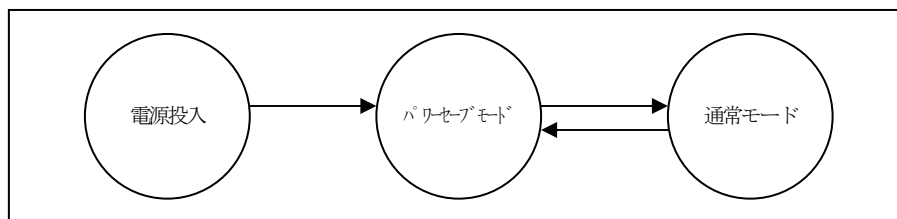


#### \*-1 電源投入後、リセット入力後のパワーセーブ状態について

S1D13700は、電源投入後、リセット(RESET#)入力後、自動的にパワーセーブモードへ遷移します。コマンドを設定する前に、パワーセーブモードを解除し、通常モードへ遷移させる必要があります。



パワーセーブモードとは、内部回路へのクロック供給を止めている状態(\*1)で、内部動作は全て止まっています。このため設定コマンドの受け付けはできず、ドライバへの出力端子は、YDIS(LCDパワーゲート出力、パワーセーブモード時=L固定)を除き、不定状態のままです。

通常モードとは、内部回路へ、クロックが供給された状態です。このとき、初めて各種設定コマンドの受付が可能になります。各種設定コマンド設定後、DISPON(0x8009, C=59)コマンド投入で、ディスプレイ表示が開始されます。

(\*1: 発振回路使用時、発振自体はされますが、内部回路への伝播を止めています。)

#### \*-2 パワーセーブモードの解除、設定方法

##### ● パワーセーブモード解除 (パワーセーブモード → 通常モード)

ダイレクトモードの場合: 0x8008 bit0(SleepIn)へ' 0' ライト。

インダイレクトモードの場合: SYSTEM SET C=40 へアクセス。  
SYSTEM SET P1 へアクセス。(\*2)

(\*2: 必ずP1までのアクセスを行なって下さい)

##### ● パワーセーブモード設定 (通常モード → パワーセーブモード)

ダイレクトモードの場合: 0x8008 bit0(SleepIn)へ' 1' ライト。

インダイレクトモードの場合: SLEEPIN C=53 へアクセス。

##### ● パワーセーブモード解除からディスプレイ表示

電源投入後、リセット(RESET#)入力後は、以下のシーケンスでディスプレイ表示が開始されます。

1. 通常モードへ遷移
2. 各種コマンド設定
3. DISPON(0x8009, C=59)コマンド投入